

合格テキスト 日商簿記 **3** 級

TAC簿記検定講座 著



テーマ12 その他の期中取引(Ⅱ)

ここでは、固定資産の購入、有価証券の売買について学習します。

1 固定資産とは

1. 固定資産とは

固定資産とは、建物や備品などのように、企業が1年を超えて使用するために所有している資産をいいます。

- ① 建物^{たてもの}：事務所・店舗・倉庫・工場など
- ② 備品^{びひん}：事務用机やイス・陳列棚・金庫・OA機器など
- ③ 車両運搬具^{しゃりょううんぱんぐ}：トラック・乗用車など
- ④ 土地^{とち}：事務所・店舗・倉庫・工場などの敷地

(注) 備品については、使用期間が1年未満または取得原価が少額のものは消耗品として処理できます。

2. 固定資産の購入

固定資産を取得したときは、取得原価^{しゅとくげん か}でそれぞれの勘定の借方に記入します。

取得原価とは、企業がその資産を手に入れて使用できるまでにかかった金額をいい、購入代価^{こうにゅうだい か}のほかに売買手数料などの付随費用^{ばいばい て すうりよう ふい ずい ひよう}を加えて計算します。

$$\text{取得原価} = \text{購入代価} + \text{付随費用（売買手数料など）}$$

(注) 検定試験（3級）において出題された固定資産購入時の付随費用には、次のものがあります。

- 建物^{たてもの}：登記料・仲介手数料など
- 備品^{びひん}：引取運賃^{すえつけ ひ}・据付費など
- 車両運搬具^{しゃりょううんぱんぐ}：購入手数料など
- 土地^{とち}：整地費用・登記料など

仕訳例 1

1月1日、建物1,000円を購入し、購入代価は小切手を振り出して支払い、購入にあたっての登記料、仲介手数料の合計額250円は現金で支払った。

(建物)	1,250	(当座預金)	1,000
		(現金)	250

建物	
1/1 諸口	1,250

基本例題 30

次の取引について仕訳しなさい。

1. 土地を購入し、代金2,000円のほかに仲介手数料200円、登記料40円を合わせて、小切手を振り出して支払った。
2. 上記1.の土地の整地費用60円を現金で支払った。
3. 業務用の乗用車を購入し、車両価格1,500円と付随費用120円のうち半分は現金で支払い、残りは来月に支払うことにした。

2

有価証券とは

簿記上の有価証券^{ゆうかしょうけん}と商法上の有価証券とは異なりますが、ここでは簿記上の有価証券のうち売買を目的として所有する有価証券について説明します。

1. 簿記上の有価証券

簿記上の有価証券とは、会社が発行する株式や社債、国が発行する国債、地方公共団体が発行する公債などをいいます。



⊕ 売買目的有価証券 ⊖

資産

ここでは、有価証券の処理のうち、購入・売却について説明します。

2. 有価証券の購入

有価証券を購入したときは、取得原価を計算して、**売買目的有価証券勘定（資産の勘定）**の借方に記入します。

(1) 取得原価の計算

有価証券の取得原価は、次のように計算します。

$$\text{取得原価} = \text{購入代価} + \text{売買手数料（付随費用）}$$

通常、株式や公社債などは証券会社で購入しますが、このときに支払う手数料を売買手数料といいます。この手数料は取得原価に含めます。

① 株式の場合

$$（１株あたりの）買入単価 \times 買入株数 + 売買手数料$$

② 公社債の場合（１口100円を前提として計算）

$$（１口あたりの）買入単価 \times \frac{\text{額面金額}}{100\text{円}} + 売買手数料$$

（注）買入単価は、たとえば「100円につき97円で購入した」などと示されます。



ここがPOINT

有価証券を購入したときに支払う「売買手数料」は、必ず取得原価に加えること。

(2) 購入したときの仕訳

① 株式の場合

仕訳例 2

1月10日、埼玉物産株式会社の株式を1株あたり60円で100株購入し、代金は売買手数料200円とともに現金で支払った。

(売買目的有価証券)* 6,200 (現 金) 6,200

売買目的有価証券

1/10現 金 6,200

* 売買目的有価証券勘定に代えて、有価証券勘定とすることもあります。

② 公社債の場合

仕訳例 3

1月12日、秋田商事株式会社の社債1,000円(額面@100円)を@94円で購入し、代金は売買手数料20円とともに現金で支払った。

(売買目的有価証券)* 960 (現 金) 960

売買目的有価証券

1/12現 金 960

* $@94円 \times \frac{1,000円}{@100円} + 20円 = 960円$

基本例題 31

次の取引について仕訳しなさい。

1. 東京商事株式会社の株式を1株あたり650円で20株購入し、代金は売買手数料300円とともに小切手を振り出して支払った。
2. 横浜物産株式会社発行の社債(額面総額20,000円)を額面100円につき98.5円で買い入れ、代金は売買手数料200円とともに現金で支払った。

テーマ16 決算の手続き（Ⅰ）

ここでは、決算のあらましと精算表の記入方法、有価証券の決算整理について学習します。

1

決算とは

日常の手続きを行うだけでは、企業の財政状態や経営成績は明らかにはなりません。そこで、決算という手続きを行う必要があります。

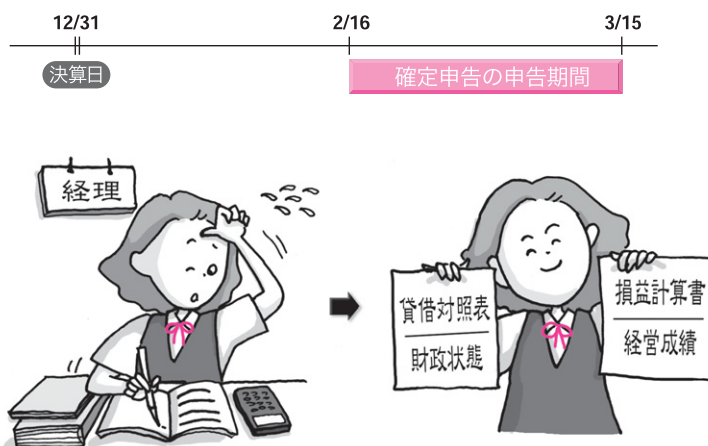
1. 決算の意味

決算とは、会計期間ごとに勘定の記録を整理して、帳簿を締め切り、貸借対照表と損益計算書を作成する一連の手続きをいいます。

2. 決算と決算日

一会計期間の末日を決算日といい、個人商店では決算日が12月31日と決められています。なお、株式会社の場合は特に決まりはありませんが、大半は3月31日です。

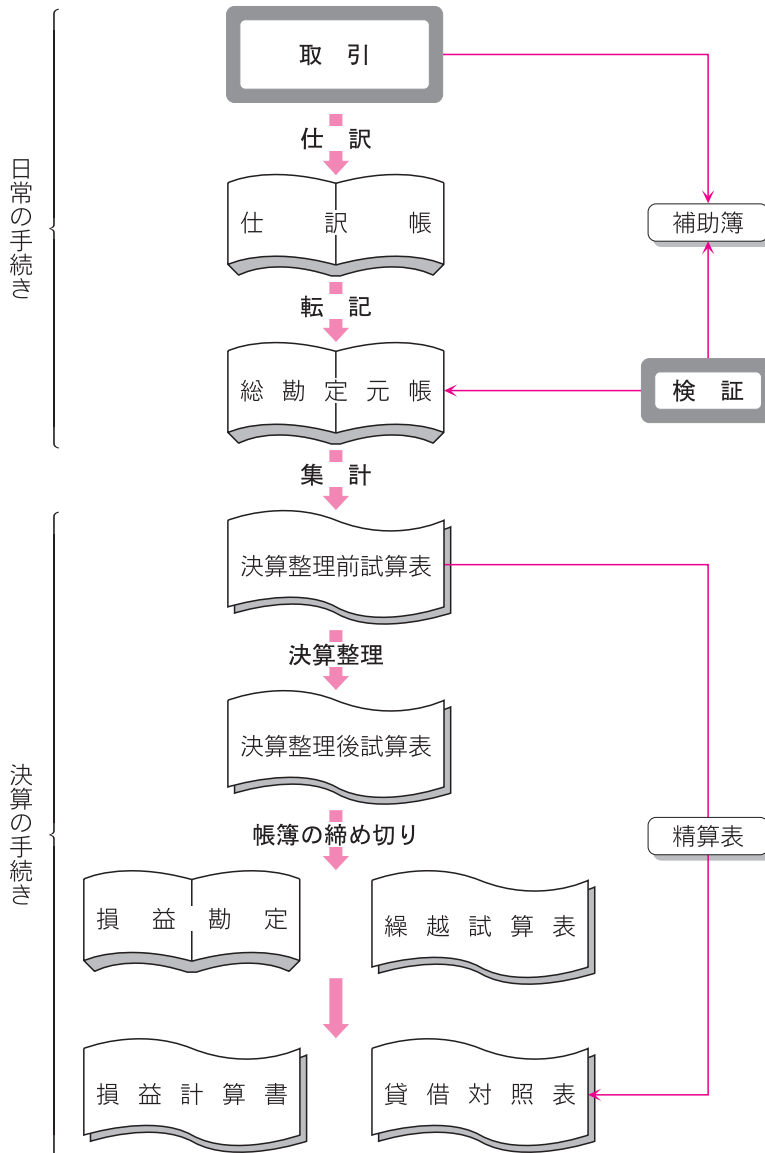
決算の手続きは決算日当日にすべて行うのではなく、個人商店の場合、決算日（12/31）以降、確定申告の申告期間（毎年2月16日から3月15日）までの間に終了させます。



2

決算の手続き

ここでは、日常の手続きから決算の手続きについてその概要をみることにします。決算の手続きはやや難解ですが、しっかりとその流れをつかむようにしましょう。



これまでに学習した期中取引は日常の手続きとして、すべて総勘定元帳に転記され、さらに検証（一覧性など）のために試算表が作成されます。

これから学習する決算の手続きは、決算整理を通じて企業の適正な損益計算や財政状態を示すための手続きをいいます。

5

有価証券の評価替え

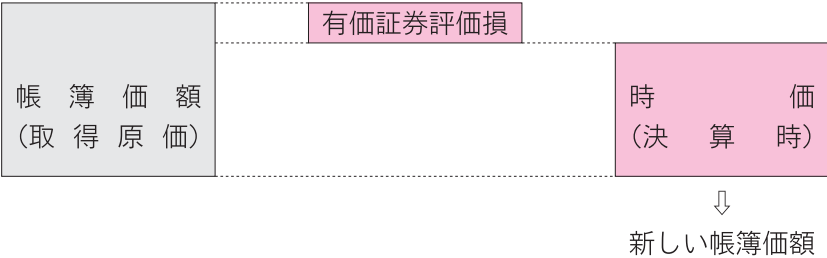
株式や債券などの有価証券は、市場（証券取引所）の売買時点における時価（市場価額）を基準にして売買されます。

そこで、決算時に所有する有価証券の本来の価値を帳簿に示すため、帳簿価額と時価が異なるときは、その帳簿価額を時価に修正する必要があります。これを**有価証券の評価替え**といいます。

その際、評価替えの対象となる売買目的有価証券勘定を減額または増額し、その結果生じる差額を**有価証券評価損勘定（費用の勘定）**または**有価証券評価益勘定（収益の勘定）**で処理します。なお、この評価替えを認める基準を時価法（時価基準）といいます。

(1) 値下がりしたとき

帳簿価額よりも時価が値下がりしたときは、その分だけ売買目的有価証券勘定の貸方に記入し減少させるとともに、有価証券評価損勘定の借方に記入します。



設例

16 - 1

12月31日、第1期決算において、当社が所有している福岡商事の株式100株について評価替えを行うことにした（取得原価8,000円、時価7,900円）。

(有価証券評価損)* 100 (売買目的有価証券) 100

精 算 表

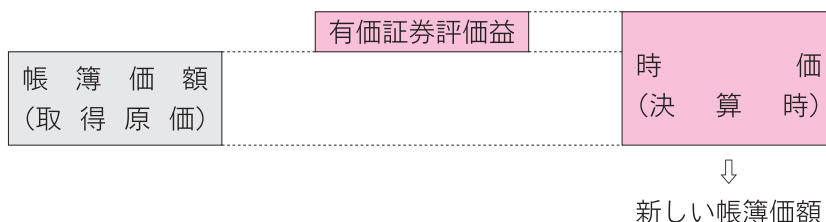
勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
売買目的有価証券	8,000			100			7,900	
有価証券評価損			100		100			

* 有価証券評価損勘定に代えて、有価証券運用損勘定、有価証券評価損益勘定とすることもあります。

売買目的有価証券				有価証券評価損			
決算整理前残高	8,000	12/31有価証券評価損	100	12/31売買目的有価証券	100		

(2) 値上がりしたとき

帳簿価額よりも時価が値上がりしたときは、その分だけ売買目的有価証券勘定の借方に記入し増加させるとともに、有価証券評価益勘定の貸方に記入します。



設 例 16 - 2

12月31日、第5期決算において、当社が所有している札幌商事の株式100株について評価替えを行うことにした（取得原価9,000円、時価9,050円）。

（売買目的有価証券） 50 （有価証券評価益）* 50

精 算 表

勘定科目	試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
売買目的有価証券	9,000		50				9,050	
有価証券評価益				50		50		

* 有価証券評価益勘定に代えて、有価証券運用益勘定、有価証券評価損益勘定とすることもあります。

売買目的有価証券		有価証券評価益	
決算整理前残高	9,000	12/31売買目的有価証券	50
12/31有価証券評価益	50		

基本例題 39

次の有価証券について決算整理仕訳を行いなさい。

- (1) A社株式について4,000円の評価損を計上する。
- (2) B社株式（帳簿価額58,000円）を時価63,000円に評価替えする。

3級商業簿記 基本例題解答

基本例題 30

1.	(土 地)	2,240	(当座預金)	2,240
2.	(土 地)	60	(現 金)	60
3.	(車 両 運 搬 具)	1,620	(現 金)	810
			(未 払 金)	810

基本例題 31

1.	(売買目的有価証券)	13,300	(当座預金)	13,300
2.	(売買目的有価証券)	19,900	(現 金)	19,900

基本例題 39

1.	(有価証券評価損)	4,000	(売買目的有価証券)	4,000
2.	(売買目的有価証券)	5,000	(有価証券評価益)	5,000